



読むトコ



第11巻 第3号 (2022.11)

2022年8月に「大人向け工作会」を実施しました。

大人向け工作会 「手ごね石鹸を作ろう」

アロマやスパイスなどを一緒に混ぜて、香り付けや着色して、小さな石鹸を作りました。

簡単に作れることもあり、参加された方は様々な色や香り付けで石鹸作りを楽しんでいました。

今後も様々なイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。



図書館まつり

11月12日(土)、13日(日)に新所沢分館図書館まつりが開催されます。

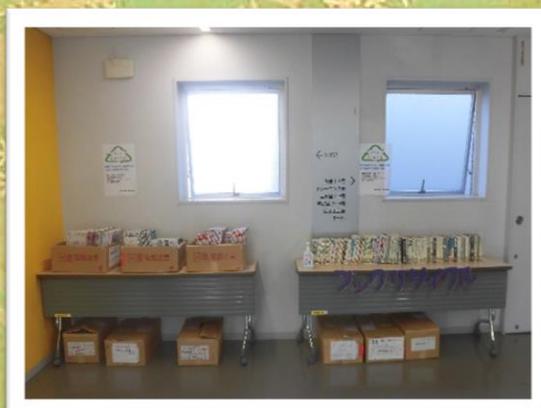
一般向けのイベントとして恒例のブックリサイクルと朗読会を開催いたしますので、ぜひ図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。

朗読会

11月12日(土) 14:00～

場所: 図書館内・おはなし会室

定員: 8名 ※事前申し込み制



↑ブックリサイクル

写真は昨年度のもので、

11月12日、13日の両日開催します。

〇〇の日 おすすめ本紹介



11月 17日は将棋の日

江戸時代、この日に江戸幕府主催の年一回開かれる御城将棋を行っていた史実から、1975年に日本将棋連盟が制定。

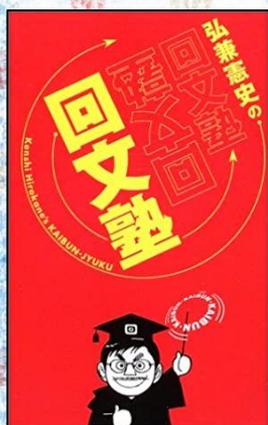
『泣き虫しよったんの奇跡』(796.021/セ) 瀬川晶司/著 講談社

プロの将棋棋士になるには、奨励会と呼ばれる棋士養成所に六級として入会するところから始まります。26歳までに四段となることでプロと認定され、1年に4人誕生します。この本の著者は年齢制限でプロへの道を断たれますが、35歳の時、特例でプロ編入試験を受験することになります。長い時間を経て悩みながらも、断たれた夢へもう一度挑戦し始める著者の姿に、励まされる人も多いかもしれません。



12月 21日は回文の日

この日が数字上で前から後からも同じになることから、回文俳句を手がける宮崎二健氏が制定。



『弘兼憲史の回文塾』(807.9/カ) 弘兼憲史 小学館

「回文」とは、「和歌・連歌・俳諧などで、上から読んでも下から読んでも同音のもの」(『広辞苑』第七版 岩波書店)のことです。例えば、日本回文協会のホームページには「長き世の遠の眠りの皆目覚め波乗り舟の音の良きかな」という、江戸時代に作られた回文が紹介されています。

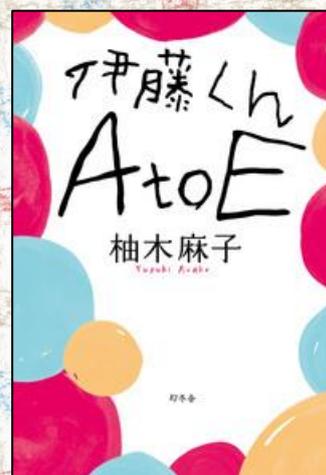
自分自身でも考えることで、頭の体操にもなりそうですね。

1月 10日は伊藤くんの日

1(伊)月10(藤)日の語呂合わせから、映画「伊藤くん A to E」のPRを目的に制定された。

『伊藤くん A to E』(913.6/ユ) 柚木麻子/著 幻冬舎

美形でボンボンだが、自意識過剰で無神経。そんな伊藤くんに振り回される5人の女性たち。彼女たちが抱く苛立ちや嫉妬、執着や優越感といった感情は決して他人事ではないはず。それでも最後はお皿一枚分でもいいから進もうと思える本です。



読むトコ 第11巻第3号

編集・発行：所沢市立所沢図書館新所沢分館（指定管理者 株式会社ヴィアックス）

発行日：2022年11月

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905